

ゆるっと、ぷらっと。大隅を駆け抜けました

ゆるぷらサイクリング iN おおすみ 2019



12月8日(日)、大隅地域を自転車で巡る『ゆるぷらサイクリングiNおおすみ2019』が開催されました。

イベントは大崎町・肝付町・東串良町で行われ、参加者は肝付町と大崎町の2か所からそれぞれスタートし、60kmのロングコース・40kmのショートコースをサポートライダーの先導のもと楽しみました。

大崎の休憩所(エイドステーション)のふれあいの里公園では、町内企業である(株)ローハス特製のガネを、横瀬古墳では漬物を提供し、参加者らは「おいしいですね。また頑張れます!」と笑顔を浮かべました。

町内外から参加した約70人は「天気も良く景色もきれいでとても楽しめた。また参加したい」と次回の開催を楽しみにしていました。
次回は3月に開催する予定となっています。



今大会の最高齢参加者である福原俊夫さん(仮宿下)は今年で80歳。自転車歴50年以上になる大ベテランです。当日も60kmコースに参加され、悠々と走られていました。
また、11月30日(日)に開催された『第19回ツール・ド・おおすみサイクリング大会』にも毎年参加されており、そこでも最高齢参加者となっています。

福原さんに今後の目標を聞くと「健康づくりのために始めた自転車でしたが、こんなにも長く続けられて嬉しく思います。身体が動くうちは自転車に乗り続けていきたいと思えます」と述べられました。